

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

20A-45

代表者：実行委員長 川島秀男

URL : <https://sites.google.com/site/tarouemonarakawa/>

1. 活動が必要とされた状況

荒川太郎右衛門自然再生地は、都市部近郊で豊かな自然環境が残されており、地域固有の生物多様性の確保や自然と共生する社会の実現への貢献が期待される地域である。

チラシの配布・イベントの実施によって荒川太郎右衛門地区自然再生事業及び協議会活動の内容を広く一般に知っていただくと同時に、活動の一部を体験してもらうことで、自然再生や環境保全の意義について知っていただくことを目的として活動を行った。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

■チラシの配布

実施時期：平成 29 年 9 月 配布先：近隣の小中学校・高校、JR 桶川駅、公共施設等

活動内容：自然再生地とそこでの活動について広く一般に知っていただくことを目的として、自然再生地についての紹介とイベントの広報のためのチラシを配布した。

■イベント

実施時期：平成 29 年 10 月 21 日 参加人数：56 名

活動内容：一般市民の方に、自然再生の活動を体験してもらうとともに、荒川太郎右衛門自然再生地を訪れていただくきっかけを作ることを目的に、昆虫採集と外来種の除草を市民の方に体験していただいた。

3. 活動の成果

チラシは作成した 28,500 枚のほぼ全量を配布し、多くの方に荒川太郎右衛門自然再生地について知っていただけたと考えられる。また、チラシでイベントの広報を行った結果、締切より 3 週間早く、参加希望者が定員に達した。

イベントについては、あいにくの天候にも関わらず、56 名もの方に参加していただいた。参加者へのアンケートの結果、多くの方に「とても楽しかった」(62%)あるいは「まあまあ楽しかった」(32%)と回答していただいた。



除草実施状況



除草を楽しむ参加者



昆虫採集実施状況

4. 今後に残された課題

天候がよければさらに多くの方にイベントに参加いただけたと考えられるため、延期を的確に判断する必要がある。

今後も多くの市民の方に楽しんでいただけるイベントを実施し、自然再生地での活動を盛り上げ、生物多様性の保全・環境教育の推進に貢献していきたい。